

令和元年度

第3回 舟形町総合発展計画策定会議

○ 日時：令和元年10月21日（月）

19:00～21:00

○ 場所：舟形町中央公民館3階大ホール ほか

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協 議

【全体会】

- (1) 短期アクションプランの検討手順
- (2) その他

【専門部会】

「首都圏移住相談窓口から～相談者の傾向と他県の取組み～」

認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター

やまがたハッピーライフ情報センター

移住コンシェルジュ 海月 あゆみ 氏

- (1) 短期アクションプランについて（素案）
- (2) その他

4. 閉 会

第3回 舟形町総合発展計画策定会議

配布資料一覧

- 資料1 舟形町総合発展計画策定会議 席次表
- 資料2 舟形町総合発展計画策定会議 専門部会名簿
- 資料3 第7次舟形町総合発展計画の体系（素案）
- 資料4 第7次舟形町総合発展計画策定スケジュール
- 資料5 短期アクションプラン（素案）
- 参考 第2回舟形町総合発展計画策定会議での意見等

舟形町総合発展計画策定会議 席次表

資料 1

舟形町副長 庄司雅人
 舟形町長 森 富広
 策定委員会委員長
 町内会長連絡協議会
 会長 阿部太悦 様

策定委員会副委員長 特別養護老人ホームえんじゅ荘 荘長 坂上 洋 様		まちづくり審議会会長 阿部弘明 様
ラッキーバッグ株式会社 薬剤師 大橋史広 様		まちづくり審議会会長代理 吉田達也 様
舟形小学校PTA 会長 植松路子 様		まちづくり審議会委員 野尻和彦 様
舟形町社会教育委員 会長 小國 隆 様		まちづくり審議会委員 大場美登理 様
もがみ南部商工会舟形支部 支部長 八鍬雅章 様		まちづくり審議会委員 沼沢 龍 様
舟形町認定農業者協議会 副会長 大場和司 様		まちづくり審議会委員 森貴久子 様
子育て世代 豊岡美香 様		まちづくり審議会委員 渡邊千賀子 様
舟形町消防団 副団長 加藤嘉久 様		まちづくり審議会委員 渡辺千代恵 様
福寿野自主防災組織 副会長 佐藤日出夫 様		まちづくり審議会委員 信夫貴吉 様
		まちづくり審議会委員 富樫美貴 様
		まちづくり審議会委員 伊藤隆子 様
事務局		

(健康福祉)

1-1-1保健・医療の充実

- 介護人材ネットワーク協議会への参加も、取り組みに追加してほしい。
- 中学校区が広い。山形市等では一中学校区の中に14～15程度の医療機関がある。広い地域の中に、診療所1カ所、歯科医院1カ所というのは少ないのではないか。

1-1-2健康寿命の延伸

- 通いの場へ行きたいが、歩けない、外出できないという人が多い。健康ポイントを使って、何か外出支援に利用できるようなことはないか。
- 町内会行事では、手段がない人は役員が送迎をしている。近所に出かけるための手段を考える必要があるのでは。
- ジェネリックについて、国保会計や社会保障費が抑えられるのなら広まってほしい。子ども医療費は無料なので、薬は先発品でいいという人もいる。内容をもっと広めることが必要。

1-2-3高齢者が安心して暮らせるまちづくり

- 百歳体操への参加率があがれば、健康寿命があがると思う。健康ポイントに団体賞を取り入れるといいのではないか。
- 元気な高齢者多くなっているが、運転免許返したが、デマンドタクシーは使い勝手が悪いという声多い。デマンドタクシーは、ほぼ高齢者だけの足になっているので、この分野で検討した方がいいのではないか。
- スクールバスとの混乗はできないか。子ども優先でいいので、高齢者も乗せてもらえば助かるのではないか。
- スクールバスの混乗は、基本的に料金発生することにして、子どもたちは減免することにするといいのでは。
- デマンドタクシーは待ち時間が長い。物産センターで待っている人対象に、待ち時間に健康体操とかしてはどうか。
- ちょっと出かけたときの手段があるといいと思う。ラクタータへの助成や補助はどうか。
- 地域でのボランティアが必要だと思う。最近はお茶飲みする機会もなくなっている。

1-2-4障がい者がいきいき暮らせるまちづくり

(教育文化)

2-1-1出会い・結婚・出産・子育てへの支援充実

- 目標指標にある合計特殊出生率について。
- 結婚サポートセンターでの事業について。昔ながらの仲人システムは婚姻率が高いのではないか。

2-1-2保育機能の充実

- 保育サービスや保小中連携・保育士等の研修は、よく取り組まれている。特に体育活動事業については社会体育と連携して実施されており、継続すべき。
- 文化活動について、芸術文化協会から囲碁・将棋等の活用はできないのか。
- 学童保育の文化的活動は、教育委員会だけでなく、芸術文化協会と連携委託して行えないか。
- 教育に携わる方の研修は必要だ。どんどん新しい子育てを吸収するためにも良いことだし、切れ目ない教育は、生涯を通じて望ましい視点であり、とても大切である。
- これまでやってきた子育てセンターのブックスタート・読み聞かせ等の効果検証をする必要があるのではないか。小中学生への効果とかはどうなのか等。
- ブックスタートから読書活動へのつなぎは、親の意識や関心によって家庭ごとに違う。行政の介入と支援も必要ではないのか。
- 一人読みに向き合わせる努力が必要。広域的な連携があり、小さい図書館でも、小回りが大きき図書館があってほしい。土日でも利用できるよう舟小で図書館開放するなどはどうか。
- 保育園で裸足で歩いて活動するとか自然を生かした活動は貴重であり、継続すべき。
- 今回の短期アクションプランをみると舟形らしさというインパクトがない。事業については、子どもたちの楽しみ体験が多く、取り組む際の大変さ・つらさが感じられないものが多い。そういったことに向き合うことも大事ではないか。

2-2-3学校・家庭・地域・行政による町ぐるみ教育の充実

- 司書教諭の配置について。
- 主な事業・取り組みをみると、大変充実している。ぜひ、目標指標を達成させたい。
- 中学校の老朽化について。

2-3-4生涯学習の推進

- ひきこもり等の問題について。
- 高齢単身世帯になると、地域・人とのつながりが希薄になる。つながる体制を。
- 自身の特技を生かして活動してくれる人材、人と人、人と地域をつなぐような活動ができる方々の人材バンクを。子どものみの交流だけでなく、大人の交流も可能となるのでは。
- コミュニティスクールのように、地域と学校をつなぎ役となる地域コーディネーターが活用しやすいのでは。

2-3-5芸術文化の振興と文化財の活用

- 学童保育での囲碁・将棋などを奨励し、サークル活動を組織化するのはどうか。
- メディアセーブする時間の過ごし方の提案として、読書・囲碁・将棋などを奨励するということも考えが必要なのでは。
- 各家庭や親の考えにより、時間の過ごし方が違ってくる。舟形駅等に指導してくれる人材がいれば、自然に人が集まり、一緒に集える時間ができる。機会の設定をすれば毎年参加し活動してくれる人材がでてきてくれるのでは。
- 古文書の会などは、文化財の保護には必要である。
- 博物館の整備も良いが、斉藤主税さんなどの地域の人材を活用し考古学を学ぶ機会を提供し、町民意識の醸成を図る事が大事。

2-3-6スポーツの振興

- 部活動指導員の配置はすでに行っている。野球部などの活躍とともに、B & Gでは山口主事の指導により、駅伝大会で成果を上げている。陸上が得意な子ばかりでなく、苦手な子も参加し、成果を出しているようで今後も継続すべき。
- トップ選手だけでなく生涯スポーツの推進や育成にもつながるため、部活動指導員の配置は継続すべき。

(産業経済)

3-1-1儲かる農業の推進

- 昨年の大雨による農地災害について。
- 農業分野について、いかに若い人を就農させるかが重要。若い人が多いとスマート農業や法人化等色々な展開が望める。プランには、若い担い手を増やすという視点があるのではないか。
- 舟形町の農産物もJAの広域ブランドでなく、単独ブランド化できないか。
- ブランド化された農産物があれば、観光や加工品にも繋げることができる。町独自のブランドを形成していく視点が必要ではないか。
- 人口減少に歯止めが必要。成功例を紹介すれば、町に人をつなぎとめることができるのではないか。
- 大規模農業者だけでなく、小規模な農業者が営農を続けられるような施策が必要。

3-1-2林業・内水面漁業の持続的推進

3-2-3商工業の持続的推進

- 町内商店の維持について、後継者がいない。舟形町は郡内の中では立地がいいので、ベッドタウンの構想がいいのではないか。そうすれば移住者が増えて、移住者が町内商店の担い手になってくれるような可能性も広がる。また、ベッドタウンの宅地分譲等については、民間企業の活用も必要。

3-2-4交流・関係人口の拡大

- 観光分野について、パッケージデザインやブランディングが大切。町全体が、そういったものに興味を持つようなワークショップや体制作りを行っていくという視点が必要でないか。
- 観光について、施設来場者や鮎釣り客等の意見を聞く場があればいい。
- 河川公園に車中泊する方が多いが、若あゆ温泉に充電設備等がある車中泊施設があれば、温泉の利用者も拡大するのではないか。
- 縄文の女神商品開発について、Lineスタンプの活用を考えてはどうか。PR効果は高いと思われるし、コストも低いのではないか。

(地域づくり)

4-1-1 コミュニティ活動の推進

- 地域運営組織の形態について。
- 地域運営組織での取り組み事例について。

4-1-2 多様な担い手による活躍の推進

- 地域おこし協力隊の活動支援について。
- 地域おこし協力隊活動終了後の「地元定着率」よりは、「地元定着数」とした方が実数を把握できてわかりやすいのでは。
- 若者が主体的に活動するための組織について。
- 「山形いきいき子育て・介護応援企業」について。
- 「男女ともに活躍できる環境づくり」の「現状と課題」について、女性の町内会長がいないなど地域における重職に女性がいないことも課題ではないか。

(防災安全)

5-1-1 防災・危機管理の充実

- 夜中に高齢者等が避難するのは危険であるため、災害時での夜中の避難勧告は避けた方が良いのでは。
- 災害時の太折町内の避難所がリサイクルプラザであることについては、立地的に危険性があり、最上広域の災害ごみ処理の拠点であることから、対策を講ずる必要があるのではないか。
- 携帯電話による災害時情報の解釈の仕方について。
- 避難しない住民について。
- 福祉避難所について。
- 自主防災組織と消防団との関わり方について、それぞれの内容を整理する必要があるのではないか。

5-1-2 防犯・交通安全対策

5-1-3 雪に強いまちづくりの推進

(生活環境)

6-1-1 道路・河川・水道・下水道・交通の整備

- デマンドタクシーの利用者の声を重視して。利用方法がよくわからないという声が多い。
- デマンドタクシーについてタクシー会社との連携が事業の前提にあるが、星川タクシーの高齢化等により運航できなくなるケース等への対策を。
- 公共交通でデマンドタクシーにプラスアルファとして別の方法も考えられないか。地域の人が空いている時にタクシー代わりに乗せていくという事例もある。

6-2-2UJIターンの促進

○大学進学等で町を離れていくが、○歳～○歳までというように区切って、舟形町での同窓会のような機会があると良いのでは。結婚・出産などのライフステージの変化の前に。

6-2-3住環境の整備

○舟形では良い取り組みを行なっているが知られていない。様々な会社にパンフレットを置いて周知するのはどうか。

○農家を好きと言っている人が身近にいる。親戚等を通じて舟形町での就農について周知するとよいかもしれない。

○建てても入居しないというのには立地等もある。堀内小学校跡地に住宅を建てても人は来ないだろうか。

○建築業者等にチラシやダイレクトメールでも良いので、町の支援策を知らせてはどうか。

○不動産業と町で事務手続きが同等程度に簡素化されるとよいのでは。

6-2-4持続可能な環境づくり

舟形町総合発展計画策定会議 専門部会名簿

資料2

(福祉健康) 2階研修室

坂上 洋 (特別養護老人ホームえんじゅ荘 荘長)
大橋 史広 (ラッキーバッグ株式会社 薬剤師)
渡邊 千賀子 (まちづくり審議会)
森 貴久子 (まちづくり審議会)
沼澤 伸一 (健康福祉課長)
東村 貴恵 (健康福祉課長補佐)

(教育文化) 2階小会議室

植松 路子 (舟形小学校PTA 会長)
小國 隆 (舟形町社会教育委員 会長)
渡辺 千代恵 (まちづくり審議会)
大場 美登理 (まちづくり審議会)
鍛冶 紀邦 (教育委員会教育課長)
高橋 真澄 (教育委員会教育課長補佐)
豊岡 将志 (教育委員会教育課長補佐)
佐藤 仁 (健康福祉課長補佐)

(産業経済) 3階大会議室

八 鍬 雅 章 (もがみ南部商工会舟形支部 支部長)
大場 和 司 (舟形町認定農業者協議会 副会長)
沼沢 龍 (まちづくり審議会)
富樫 美 貴 (まちづくり審議会)
小野 芳 喜 (まちづくり課長)
斎藤 雅 博 (農業振興課長補佐)
佐藤 拓 (農業振興課農政企画係長)

(地域づくり) 3階大会議室

阿部 太 悦 (町内会長連絡協議会 会長)
豊岡 美 香 (子育て世代)
伊藤 隆 子 (まちづくり審議会)
曾根田 健 (まちづくり課長補佐)
梅津 拓 真 (まちづくり課企画調整係主任)

(防災安全) 1階和室

加藤 嘉 久 (舟形町消防団 副団長)
佐藤 日出夫 (福寿野自主防災組織 副会長)
野尻 和 彦 (まちづくり審議会)
伊藤 茂 樹 (住民税務課長)
伊藤 英 一 (地域整備課長補佐)

(生活環境) 3階大会議室

阿部 弘 明 (まちづくり審議会)
吉田 達 也 (まちづくり審議会)
信夫 貴 吉 (まちづくり審議会)
伊藤 武 美 (地域整備課長)
相馬 広 志 (住民税務課長補佐)
沼澤 友 幸 (まちづくり課企画調整係長)
石川 忍 (まちづくり課地域支援係長)
松原 峻 (住民税務課危機管理室主任)

第7次舟形町総合発展計画の体系（素案）

※ 「【新規】～」の項目は、第7次総合発展計画から新規で追加されるもの。

基本目標		長期構想_第7次施策の大綱（案）	短期アクションプラン_基本施策（案）	短期アクションプラン_具体的施策（案）※	関係課	
6本の柱	1 笑顔を保つまち (福祉健康)	1 生涯を通じた健康づくりの推進	1 保健・医療の充実	地域医療との連携の強化、二次医療圏供給体制の確保	健康福祉課	
			2 健康寿命の延伸	生活習慣病対策の強化と重症化予防、【新規】がん予防対策の推進、こころの健康づくりの推進、生涯を通じた口腔機能の維持、医療費適正化の推進		
		2 高齢者・障がい者が輝く共生社会	3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	社会参画・生きがいつくり等の支援、地域支え合い、【新規】認知症の人と支える家族へのサポート		
			4 障がい者がいきいき暮らせるまちづくり	【新規】こころのバリアフリーの推進、療育体制の充実・強化、就労の促進		
	2 町の「宝」を守り育てるまち (教育文化)	1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	1 出会い・結婚・出産・子育てへの支援充実	結婚支援、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援、【新規】経済的負担の軽減	まちづくり課、健康福祉課、教育委員会	
			2 保育機能の充実	保育サービスの充実、【新規】就学前教育、【新規】放課後児童支援	健康福祉課、教育委員会	
		2 ともに生きる力を育成する教育の推進	3 学校・家庭・地域・行政による町ぐるみ教育の充実	確かな学力の育成、地域に学び、地域を愛する教育の充実、【新規】小・中学校の施設整備と教育環境の充実、【新規】職業観・勤労観の育成	教育委員会	
			3 生涯学習の推進と文化スポーツの振興	4 生涯学習の推進		【新規】学校・家庭・地域の連携協働推進、青少年の健全育成、成人・高齢者教育の推進、【新規】読書活動の推進
				5 芸術文化の振興と文化財の活用		芸術文化活動の振興、【新規】縄文の女神の活用、文化財の保全と伝承
			6 スポーツの振興	子どもの体力・運動能力の向上、健康スポーツ・競技スポーツの推進		
	3 地域の魅力・活力を生み出すまち (産業経済)	1 地域の強みを生かした農林水産業の振興	1 儲かる農業の推進	経営体・担い手の育成及び法人化の推進、【新規】売れる米づくり、【新規】園芸農業の推進、【新規】スマート農業の導入、生産基盤と施設の近代化、農林水産業を起点とした6次産業化の推進	農業振興課	
			2 林業・内水面漁業の持続的推進	林業の成長産業化、内水面漁業の持続的推進		
		2 地域に根差した産業振興	3 商工業の持続的推進	企業の維持・発展と雇用の創出、町内商店の商業機能の維持	まちづくり課	
			4 交流・関係人口の拡大	観光から交流へ、地域資源の有効活用、【新規】縄文の女神の商品開発、【新規】各種イベントや施設情報の発信、【新規】ふるさと納税の推進		
	4 つながり、支え合うまち (地域づくり)	1 持続可能な地域づくり活動の推進	1 コミュニティ活動の推進	単位自治組織の活動支援、【新規】地域運営組織の構築と活動の推進、【新規】地区公民館の運営・整備の支援	まちづくり課	
			2 多様な担い手による活躍の推進	NPO等の地域ボランティア活動の推進、【新規】多種多様な人材活用の推進、若者の主体的な活動の推進、男女ともに活躍できる環境づくり		
	5 くらし・生命を守るまち (防災安全)	1 地域の安全の確保	1 防災・危機管理の充実	【新規】災害に備えた基盤整備、消防防災体制の充実、【新規】自主防災組織の育成、【新規】防災無線等の情報システムの活用、【新規】災害時の対応力の強化、【新規】防災教育	住民税務課	
			2 防犯・交通安全対策	地域安全対策の推進、交通安全意識の高揚と安全対策		
			3 雪に強いまちづくりの推進	除雪体制の充実、協働による雪処理の体制づくり、融雪システムの取り組み		地域整備課、まちづくり課
	6 快適なくらしを叶えるまち (生活環境)	1 生活を支える社会資本の整備・機能強化	1 道路・河川・水道・下水道・交通の整備	道路網の整備、【新規】最上小国川かわまちづくり事業等による河川の整備、水道施設の維持管理、下水道施設の維持管理、公園の維持管理、公共交通体系の整備	地域整備課、まちづくり課	
2 U J I ターンの促進			【新規】孫プロジェクト等によるUターン施策の展開、【新規】移住施策の展開	まちづくり課		
2 安心して暮らせる住環境等の整備		3 住環境の整備	定住環境の整備、【新規】空き家対策	地域整備課、住民税務課		
		4 持続可能な環境づくり	生活環境の保全、循環型社会の推進、エネルギー政策の推進、畜場の環境整備の推進	住民税務課、まちづくり課		

1つの基盤	7 健全で持続可能な行政運営	1 時代にあった行政運営	1 財政の健全化	財政健全化への対応、財源の確保、公共施設等の適正管理、公営企業等の経営健全化	総務課
			2 行政の効率化	事務改善の推進、職員の人材育成、【新規】民間活力及びICTの活用推進、広域連携の推進	総務課、まちづくり課
		2 情報力の強化	3 情報発信・広聴の強化	【新規】情報発信の強化、【新規】広聴活動の充実	まちづくり課

第7次舟形町総合発展計画策定スケジュール

資料4

会議及び期日	主な内容
6月定例会 全員協議会 令和元年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の策定体制について ・ 〃 の策定スケジュールについて ・ 〃 の構成（素案）について ・ 〃 の体系（素案）について
第1回策定会議 令和元年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の策定スケジュールについて ・ 〃 の構成（素案）について ・ 〃 の体系（素案）について
第2回策定会議 【全体会・専門部会①】 令和元年8月27日	<p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の構成（素案）について ・第7次総合発展計画の体系（素案）について ・検討手順の共有 <p>【専門部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期アクションプラン（素案）
9月定例会 全員協議会 令和元年9月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告 検討の進捗状況
第3回策定会議 【専門部会②】 令和元年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・短期アクションプラン（素案）
第4回策定会議 令和元年11月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申（原案）の概要 長期構想（原案） 短期アクションプラン（原案） <p>※各専門部会からのプレゼンテーションによる共有と意見交換。</p>
12月定例会 全員協議会 令和元年12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画（原案）の説明 長期構想（原案） 短期アクションプラン（原案）
第5回策定会議 令和2年1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申（案）の概要 長期構想（案） 短期アクションプラン（案）
第6回策定会議 【書面決議】 令和2年2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申の概要 長期構想 短期アクションプラン
3月定例会 全員協議会 令和2年3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の説明 長期構想 短期アクションプラン
舟形町 令和2年3月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の決定 長期構想 短期アクションプラン

※上記策定スケジュールは検討の状況によって、変更になる場合がある。

短期アクションプラン（素案）